

学校図書館支援センター通信 NO.70 10月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



文部科学省委託研究 実践協力校 研究授業始まる 9/25塩焼小学校・10/2第七中学校・10/30新井小学校



読書の秋を迎え学校図書館では、様々な教科や読書行事等で、多くの図書が活用されていることと思います。

先日、研究協力校の塩焼小学校（9月25日）と第七中学校（10月2日）で学校図書館を活用した研究授業が行われました。

塩焼小学校では、4年生の国語「花を見つける手がかり」の学習後に自分でテーマを考えて説明文を書く授業と、2年生の国語「生きもののことをせつめいしよう」の学習と校外学習とを絡めて、動物の秘密を探って発表する授業が行われました。どちらも授業の導入時に学校図書館員によるブックトークを取り入れ、学習のゴールをあらかじめ子どもたちに示してから行いました。

子どもたちは担任や学校図書館員のアドバイスを受けながら、図書を活用して学習を最後まで進めていました。

学習のゴールが示されていることで、見通しを持って進めることができ、今は何をすべきかを常に念頭において、迷うことなく調べ学習を行っていました。

第七中学校では、国語科で2展開と保健体育科で1展開の授業が行われました。国語は3年生「和歌の調べ」と1年生「みんなで芥川作品にアタック」で、ネットワーク便で集められた多くの図書をもとに、学校司書の資料説明を参考にしながら調べて、

作品を読んでまとめていく授業での図書館活用を行いました。

保健体育では、「心身の発達と心の健康」で、人間力を高める心の1冊を見つける授業が行われました。図書館内にある様々な図書の中から「心の1冊」を探すという難しい課題でしたが、日頃から図書に親しんでいる生徒たちは、みな真剣に選書していました。この学習は、道徳とも繋がる部分があり、保健体育の時間だけでなく、他の教科との合科も可能な学習内容でした。

両校とも、図書だけでなく書画カメラ等の

ICT機器を効果的に活用して、授業をスムーズに展開していました。

10月30日は、新井小学校の研究授業が予定されていますので、ぜひご参加ください。



4年 ブックトーク



2年 書画カメラを使って発表



図書館案内

芥川作品にアタック

保健体育

和歌の調べ

図書館の窓から ~ひろげよう・図書館の輪・リレー執筆~

中山小学校は、4類の図書が豊富に揃っています。

自ら進んで手に取って興味深く読む子どももいますが、なかなか手の出にくい子もいます。

そこで、春と秋の読書週間に図書委員による読み聞かせを行い、それをきっかけに「4類」の図書に興味を持ってもらえるように考えました。図書委員は一人でも多くの子が「4類」の図書を手にするように「どんぐり」や「木はいいなあ」などという定番のものから、意表をつく内容のものまで、幅広く選書をして読み聞かせを行っていました。

その後「物語」にしか興味がないように見えた子が「図鑑」や「科学読み物」に手を伸ばす姿を目にするようになり、新たな図書との出会いのきっかけ作りや、図書と子どもとの橋渡しをすることの大切さ、その役割の大きさを痛感しています。

市川市立中山小学校 学校図書館員 飯島 綾子



道徳の授業に活かせる図書リスト

平成22年度に教育センターで、各学校の学校司書、学校図書館員の皆様のご協力で作成した「道徳の授業に活かせる図書リスト」を校務支援システム内の書庫に掲載します。

小学校、中学校それぞれの道徳の4つの視点（1. 主として自分自身に関すること 2. 主として他人との関わりに関すること 3. 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること 4. 主として集団や社会との関わりに関すること）ごとに分けてエクセルシートにまとめられていますので、授業でご活用いただきたいと思います。

また、内容項目についても記載してありますので参考にしてください。

夏季研修で学んだ成果を実践で！市川市立第八中学校 リテラチャーサークル

第八中学校では、昨年の司書教諭研修会で袖ヶ浦市図書館支援センタースタッフ中村伸子氏に教えていただいた「リテラチャーサークル」の内容をオリジナルにアレンジした授業実践が行われました。

「読書会を開こう」と題して、「はじめての文学 カレーライス」重松清：作 を読み、グループごとに疑問係、表現係、背景係、イラスト係などの役割を分担して「読書会（※リテラチャーサークル）」を行いました。

初めての経験に戸惑う生徒もいましたが、終わってみると、「一人で読書するより楽しい」「同じ係でも、読み手によって意見が違うことがわかった」「他の人の意見を聞くことができよかった」などという感想が出ていました。

学校図書館活用についての研修で学んだことを、日々の授業の中で積極的に活用していただきたいと思います。

※4、5人のグループで同じ本を読んで話し合い、自分の読みを仲間に伝えたり、友だちの読みを聞いたりしながら、自然に上手な読み方、伝え方ができるようにしていく方法。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

